

2025 年 11 月 28 日
名古屋鉄道株式会社

「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」による資金調達の実施

名古屋鉄道は、株式会社みずほ銀行(頭取：加藤 勝彦)との間で、「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」に関するシンジケーション方式による資金調達を実施しました。

「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社(取締役社長：吉原 昌利)が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン(ISO30414、内閣府人的資本可視化指針等)を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たした企業に対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所(JCR)から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています。

当社は以下の領域等における取組を開示していることを高く評価されました。

・エンゲージメントの領域

従業員エンゲージメントのスコアに加えて、人財投資が従業員のエンゲージメント向上やウェルビーイングの実現につながり、顧客や地域社会の豊かさに結び付くプロセスが図示されており、人材戦略におけるエンゲージメントの位置付けが明確に整理されている点

・健康・安全の領域

健康経営の「戦略マップ」において、健康経営の重点施策が、健康投資効果を創出し、健康経営で解決したい経営課題の解決に結び付くメカニズムが図示されている点

・ガバナンスの領域

「ESG推進委員会 体制図」において、取締役会の監督下で、社長を委員長とする「ESG推進委員会」がサステナビリティに関する取り組みを審議・推進し、取締役会へ上程・報告する体制が図示されている点。加えて、「ESG推進委員会」における議題が開示されており、人的資本経営における課題についても審議が行われていることが明記されている点

名古屋鉄道は、名鉄グループの使命と中長期経営戦略実現に向けて、人事ビジョン「あたらしく、そしてその先へ」のもと、従業員が自身の個性を発揮し、やりがいをもって働ける環境を整えることで、従業員本人とグループの成長を目指してまいります。

以上